

Studyaid_{DB} information vol.62

Ver18.20の新要素「数直線の部品」でわかる 図形編集効率アップのツボ

1

Ver 18.20 での新要素

▶ 区間つきの数直線を「部品」として収録しました

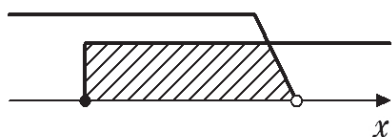


図 1：最新版では「区間つきの数直線」を収録

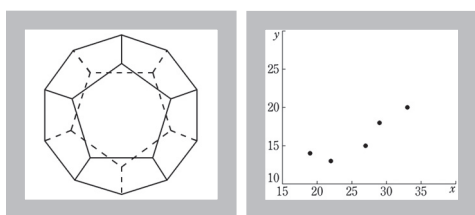


図 2：「部品」には様々な図形や画像が収録されている

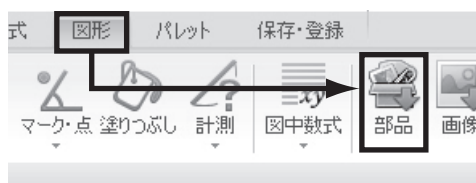


図 3：リボンの「図形」タブから使える

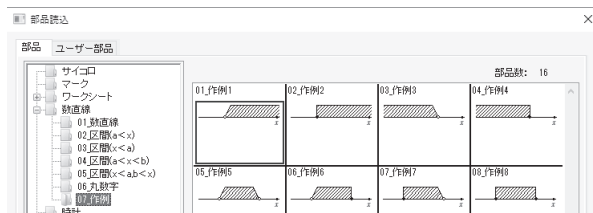


図 4：プレビューが出ているので使いたい部品を選ぶ

1) Studyaid D.B. バージョン 18.20 についてはこちらからダウンロードできます → <http://www.chart.co.jp/stdb/sugaku/download/1348.php>

2

グループ化とグループ化解除

▶ ガイダンスからも扱えるようになりました

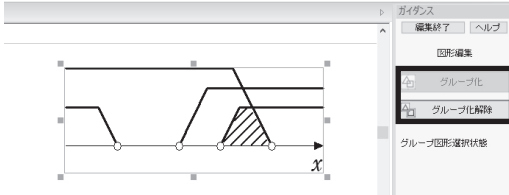


図5：ガイダンスに新たなボタンが……

「部品」から取り出した数直線を編集しようにも、図形を個別に選択できないことがあります。これは図形が「グループ化」されているからであり、「グループ化解除」の必要があります。

Ver 18.20 からはガイダンスにて「グループ化解除」ができるようになりました²⁾ (図5)。

3

新機能「線分移動」

▶ 多角形の一辺のみを動かすことができます

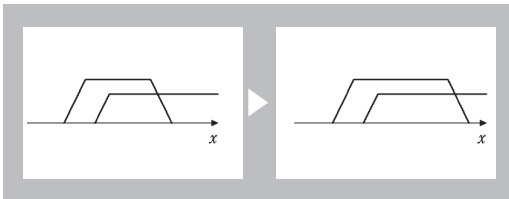


図6：範囲をもう少し広くしたいのだが……

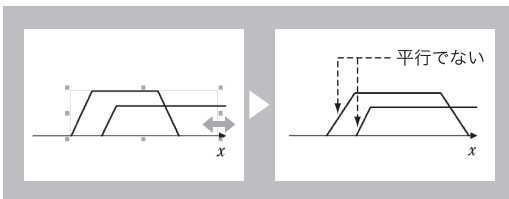


図7：横に引っ張ると斜めの線の角度が変わってしまう

区間を広くしたい……など、配置した数直線部品に手を加えたいこともあると思います (図6)。

数直線の部品は折れ線や多角形で構成されているので、左右に伸ばすことでも実現できますが、斜めの線の角度が変わってしまいます (図7)。

そこで、新機能の「線分移動」の出番です。これは、多角形の一辺のみを移動させる機能です。

変形したい図形をクリックし、リボンの[編集]タブ→[端点編集]→[線分移動]から始めます (図8)。

動かしたい辺をクリックすると、マウスに辺がついてくるので動かしたい場所で再度クリックします (図9)。

因みに、Shift キーを押したままだと垂直/水平方向に動かすことができます。



図8：[端点編集] に新しいメニュー

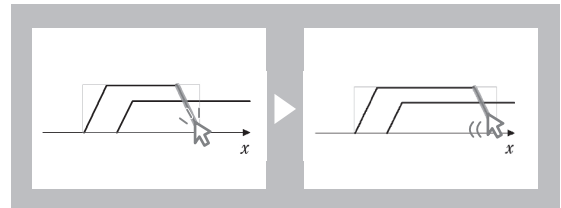


図9：動かしたい点をクリックするとマウスについてくる

2) 「グループ化」もガイダンスから可能です。グループに関する詳しい説明はヘルプをご覧ください。

4

自作の数直線を再利用する

▶ 数直線に限らず頻繁に使う図形があるなら「部品登録」を

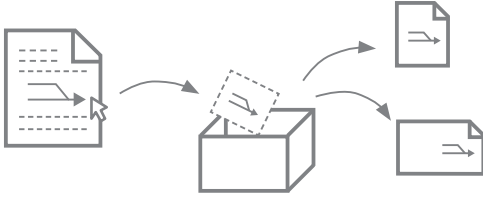


図10：一度作ったものを手軽に再利用できる

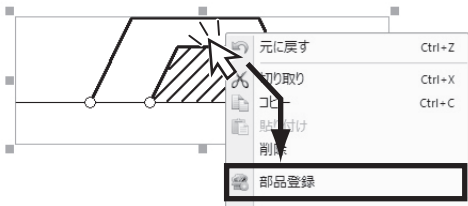


図11：図形選択→右クリック→「部品登録」と進み……

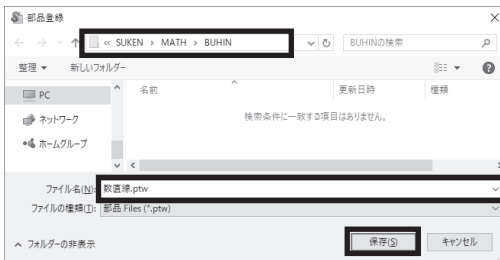


図12：保存場所とファイル名を決めれば完了

前項までに作成した数直線を、様々なプリントで使いたいと思うことがあるかもしれません(図10)。そんな方には「部品登録」をおすすめします。まずは、部品として登録したい図形を右クリックし、「部品登録」をクリック。保存場所とファイル名を入力すれば登録完了です(図11,12)。登録した部品を使用する場合は、1節同様リボンの「図形」タブの「部品」ボタンをクリックし、あらわれた画面の「ユーザー部品」タブを選択。さらに、先ほど指定した保存場所とファイル名を選べばすぐに使うことができます(図13)。

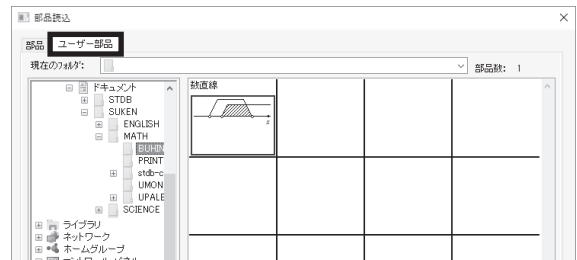


図13：使うときは「ユーザー部品」タブを選択